

| | |
|--------------|---|
| Title | 大阪大学低温センターだより No.119 裏表紙 |
| Author(s) | |
| Citation | 大阪大学低温センターだより. 2002, 119 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/20962 |
| rights | |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

〈編集後記〉

今回は超伝導フォトニクス研究センター特集です。「たより」でこのような特集が実現されたことは超伝導フォトニクス研究センターの一員として大変光栄に思います。

超伝導フォトニクス研究センターについて、こう思われる方がいらっしゃるかと思います。「超伝導エレクトロニクス（旧組織名）じゃないの?」「超伝導フォトニクスって何?」「テラヘルツとどう関係があるの?」などなど。そう思われる方には是非目を通して頂きたいと思います。センター在職歴が最も長い萩行氏によってセンターの成り立ちが紹介されています。研究の中身ですが、4件の研究ノートで紹介しています。新しい職員を増強して走り出したばかりのためか研究テーマが若干発散気味のところもあるのですが、今回の特集ではいずれも低温測定を利用したものを紹介しています。当センターの武器は、敢えて言うなら超高速・テラヘルツ分光技術と高温超伝導体及びその関連物質の物性を絡ませることです。これを念頭においてご一読頂ければ、概要をつかみやすいかと思えます。

今回は超伝導フォトニクス研究センターを特集させて頂きましたが、寒剤ユーザーの方で「じゃあ次はうちを特集してくれ」とお考えの方がおられましたら、是非ご連絡ください。特に新しい組織には良い宣伝(?)の場になると思えます。

編集会議では近く「たより」の装丁を新しくすることを検討しています。環境問題に配慮して表紙を再生紙にするのですが(中身はこれまでも再生紙でした)、これを機に大きさもA4版に拡大する予定です。字が大きくなり見やすくなると思えます。慣れ親しんだ表紙の色や本文の段組はこれまでのものを踏襲することにしていきます。長く「たより」をご覧になっている読者の方々はいかがでしょうか? 何かご意見がありましたらご連絡頂きたいと思えます。

(長島 健)

大阪大学低温センターだより 第119号

平成14年7月 発行

編集責任者 北 岡 良 雄
発 行 者 大阪大学低温センター
吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号
電話 (06) 6879-7985
豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号
電話 (06) 6850-6691

印 刷 所 阪東印刷紙器工業所
大阪市福島区玉川3丁目6番4号
電話 (06) 6443-0936 (代表)

目 次

No.119

巻頭書

| | | |
|-------------------|-------------|---|
| ヘリウム液化機の思い出 | 中島 尚男 | 1 |
|-------------------|-------------|---|

研究ノート

| | | |
|--|------------------------------|----|
| 超伝導フォトニクス研究センターの紹介 超伝導フォトニクス研究センター | 萩行 正憲 | 2 |
| 円孔配列薄膜フィルターのテラヘルツ電磁波透過特性 超伝導フォトニクス研究センター | 長島 健 木村 裕司 萩行 正憲 | 4 |
| テラヘルツから見たアンダードープ BSCOO の擬ギャップ状態 超伝導フォトニクス研究センター | 村上 博成 斗内 政吉 | 10 |
| 極短光パルスで操る磁束量子 超伝導フォトニクス研究センター | 斗内 政吉 | 16 |
| 超巨大磁気抵抗効果を示すマンガン酸化物のテラヘルツ波物性 超伝導フォトニクス研究センター | 貴田 徳明 斗内 政吉 | 21 |

お知らせ

| | |
|--------------------------|----|
| 豊中分室ヘリウム液化装置更新について | 28 |
| 投稿のご案内 | 29 |

| | |
|------------|----|
| 運営組織 | 30 |
|------------|----|